

杉本知事が、防衛相に原発集中の 嶺南地域への自衛隊配備を要請

ロシアのウクライナ原発攻撃、占領の事態を受けて、杉本達治知事が、防衛相に原発集中の嶺南地域への自衛隊配備を要請した。しかし、ロシアのウクライナ原発攻撃は軍事対軍事の危うさを明らかにしたのではないのか？

いま、自民党や維新の会を中心に、改憲と、敵基地攻撃論や核兵器共有化などが声高く叫ばれています。

日本が、改憲し、たとえばロシアや中国に対抗する核兵器能力を含む軍拡をすすめることは国民、県民は望まないし、そもそも不可能でしょう。

平和な時代だからこそ、福井県などの行政、自民党はじめ政党政治家も日本海沿岸に原発を次々と建設出来たのです。ミサイルや戦闘機が飛び交うなかでの軍事的備え強化の議論ではなく、日本こそ戦争しない憲法9条にもとづく外交の先頭にたつべきではないでしょうか。

(さとう正雄県議のブログ、3月9日)



防衛相(中央)に要請書を手渡す杉本知事(右)。9日、防衛省

ロシア軍がウクライナの原発を攻撃し、占領の事態を受けて、杉本知事が防衛相に原発集中の嶺南地域への自衛隊配備を要請した。しかし、ロシアのウクライナ原発攻撃は軍事対軍事の危うさを明らかにしたのではないのか？

嶺南に自衛隊配備を 知事、防衛相に緊急要請

ロシア軍の原発攻撃受け

ロシア軍がウクライナの原発を攻撃し、占領の事態を受けて、杉本知事が防衛相に原発集中の嶺南地域への自衛隊配備を要請した。しかし、ロシアのウクライナ原発攻撃は軍事対軍事の危うさを明らかにしたのではないのか？

「福井新聞」(3月9日付)



戦争する国づくり反対! 福井総がかりアクション 3月6日(福井駅前通り)

ロシアによるウクライナ侵略に対する抗議行動が全国各地で展開されています。福井県でも3月5日、県同盟も参加している「平和・民主・革新の日本をめざす福井の会」(福井革新懇)は、「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に断固抗議し、ウクライナ国民と連帯する声明」文を福井駅前で配りました。共産党の佐藤正雄県会議員もマイクを握って、「ロシアの原発攻撃は絶対に許せない。県庁や県議会に知事のコメントを出すよう求めたが、発表されたコメントには原発攻撃にふれていない」と訴えました。さらに、ウクライナ国歌「ウクライナは滅びず」をうたごえの仲間たちの指導でみんなで歌ってウクライナの人々に連帯しました。6日には、「戦争する国づくり反対 福井総がかりアクション」が福井駅前大通りで「ロシアはウクライナから撤退せよ」「ロシアの原発攻撃断固糾弾」「戦争反対」などと書かれた横断幕やプラカードを掲げて「ロシアによる戦争反対」、「プーチンは直ちに戦争をやめろ」「ウクライナ市民の命を守ろう」とシュプレヒコールで市民にアピールしました。▼21日午後2時からはJR福井駅前のハピテラス広場で、ウクライナ侵攻に抗議する市民集会が開かれます。各同盟員も知り合いを誘い合わせて参加しましょう。



福井県版
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
福井県本部
〒918-8203
福井市北野2-9-15
TEL0776-76-0836

私たちの運動の基本
ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
一、治安維持法体制の復活に反対する
二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であることを認めること。
三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

すべての支部、会員みなさんに訴えます 6月の全国大会めざす「2万人の同盟実現特別期間」の 成功を軸に、同盟運動の前進に力をつくしましょう

2022年3月9日

治安維持法国賠同盟中央常任理事会

同盟は3月9日中央常任理事会を開催し、第40回全国大会めざす「2万人の同盟実現特別期間」の成功を軸に、同盟活動の前進のため決意を固めました。
ご承知の通り、ロシアのウクライナ侵略、国内では自民党や維新の会の核武装論、憲法9条改憲論の危険な目論みが表面化しています。一方、ウクライナ侵略反対、戦争する国づくり反対の声は日増しに広がっています。

私たち治安維持法国賠同盟は、「再び戦争と暗黒政治を許さない」社会を実現するため50余年頑張ってきました。いまこそ平和と民主主義を守る市民と共同の輪を広げ、同盟の真価を発揮すべき時です。

そのためにも中央常任理事会は、すべての都道府県本部、支部、会員みなさんに次の行動に参加し、運動の前進に奮闘していただくよう訴えます。

一、「2万人同盟実現」のため、知恵と力を発揮しましょう

会員拡大は、支部の自主目標達成に力を尽くしましょう。

県本部、支部に「会員拡大推進本部(委員会)」を確立し、行動の計画を立てましょう。

会員拡大顕彰制度「5人拡大」「10人拡大」に氏名を発表。「10人拡大」は氏名発表と記念品DVD「種まく人びと」又は「治安維持法下の刑事司法・行政警察用語辞典」の一品を贈呈。

県・支部は、「5人拡大」「10人拡大」チャレンジャーを組織する。

対象者は、これまで結びつきのある人、「映画『千代子』」の上映運動や学習会参加者、映画を鑑賞した人などの名簿を作り、入会訴えの計画をたてましょう。

4月には鑑賞者に事前にお渡しする「入会のよびかけ」を作成します。

二、国賠署名の取り組みを飛躍させましょう

国会請願行動が5月11日に決まりました。「コロナ禍」で取り組みは遅れています。「ひとり10筆」など、これまでの経験と教訓を生かし、支部目標達成に全力をつくしましょう。

三、映画『わが青春つきるとも』伊藤千代子の生涯』上映運動を成功させましょう

この映画は、働く人びとの生活の向上と明るい社会を求めて活動し、治安維持法の犠牲となった若い女性の生き方を描いたものです。私たちに希望と勇気を与えてくれる映画です。まさに同盟のために作られたと言っても過言ではありません。また真のジェンダー平等とは何かを学び、今後の同盟運動にとっても展望を示してくれる歴史的意味もあります。上映運動を成功させ、鑑賞した方々へ「入会」を訴えましょう。

四、学習、顕彰活動を活性化しつつ、財政活動を前進させましょう

歴史を学び、先人の果たした役割に確信をもって、同盟活動の今日的意義を理解しようではありませんか。そして、もっと多くの方々に知らせ、仲間になっていただく機会を広げましょう。

会費は、4月の年度初めに全会員が納める気風のある同盟の建設と、募金活動、誌代や品代の未納克服に努力しましょう。全会員のみなさん

同盟の前進を亡くなる直前まで切望した増本会長の遺志に込め、治安維持法犠牲者が憲法17条「公務員の不法行為による国家賠償」を求めて創立以来50余年、「2020年代に治安維持法体制に決着をつける」ためにも欠かすことができません。戦争のない平和な社会を願う多くの国民の期待に応えようではありませんか。

以上

わが青春つきるとも

～伊藤千代子の生涯～

共感と感動呼ぶ作品に

監督・桂壮三郎

映画製作は、コロナパンデミックに晒されながらも各地の草の根の運動から激励と製作支援を受けて、監督として、こころざしを掲げて製作運動を推進してきました。そして、今年春、本作を支援した皆様の多大なご協力により、ここに、映画「わが青春つきるとも～千代子の生涯～」が遂に誕生致します。映画の誕生を千代子さんも天国から喜んでいらっしゃる事でしょう。昨年12月、千代子さんの獄中最後の手紙の撮影でクランクアップとなり、今年に入り編集と音入れのポストプロを行い3月に完成の運びとなります。

映画は千代子の革命に生きた歴史的真相をリアリズムに描き、そして、わかりやすく明快な表現の形象を監督として心がけました。伊藤千代子役の井上百合子さんは今回が本格的な映画デビューとなり、井上さんには千代子さんによく学び、よく理解して取り組みたいと新人らしく果敢に千代子像を熱演してくれました。

さて、今日の日本社会は悪政が蔓延し、国民生活の苦難が著しく高まりつつあります。又、憲法と民主主義の危機も深刻さを増しています。あの治安維持法の暗黒時代に国民の幸せを願い、こころざしを掲げ社会を変えようと立ち上がった伊藤千代子の生涯は必ず現代に共感と感動を呼ぶことでしょう。

福井上映会

4月30(土)福井県国際交流会館

①10:10～ ②14:00～

(福井市宝永3丁目1-1)

鑑賞券 999円(映画製作募金者は、募金の証を持参すると無料です)

◆敦賀上映会も開催予定。(日程・会場が決まれば発表します)